

平成29年度福島県優良建設工事として管内より7件が受賞しました！

福島県土木部では年度毎に、前年度に完了した工事のうち、その出来ばえや現場の管理、創意工夫などの点において、他の模範となるような極めて優秀な工事を対象に、優良建設工事として表彰を実施しています。優良建設工事は、各建設事務所から推薦した工事の施工実績等について、基準を満たしているかの確認の後、審査書による選定、さらには現地審査結果も踏まえて決定されるものです。

平成29年度は県土木部として、計25件の優良建設工事が決定され、9月13日（水）に表彰式が行われました。県北建設事務所管内では、以下のとおり7件の工事が受賞しましたのでご紹介致します。

優良建設工事表彰 受賞事業

道路部門



受賞者：川名建設工業(株)
工事名：道路橋りょう改良（改良）工事（改良）
工事場所：二本松金屋線 本宮市糠沢地内

特徴：複雑に交差する箇所での精度の高い出来形管理、高い品質管理、交通解放時の安全管理、そして地域に対する環境美化活動などトータルマネジメントに優れていた。

舗装部門



受賞者：多田建設(株)
工事名：道路橋りょう整備（交付）工事（舗装）
工事場所：上名倉飯坂伊達線 福島市大笹生地内

特徴：厳しい社内規格値の設定による出来形・品質管理の徹底や、継ぎ目のない舗装による美観の創出など工事全体の出来形・出来栄が優れていた。

砂防部門



受賞者：大沼林産工業(株)
工事名：砂防（交付（再復））工事（えん堤）
工事場所：彦平沢1号筋 伊達市霊山町石田地内

特徴：厳しい施工条件のもと、コンクリート打設時の品質確保のために型枠シートの活用や、打ち継ぎ部が鋭角とならないような溝の設置などの入念な施工管理を行い、全体的に丁寧な仕上げが施された。

特殊構造物部門



受賞者：菅野建設工業(株)
工事名：復興公営住宅整備工事（造成）（油井2）
工事場所：石倉団地 二本松市油井字石倉地内

特徴：造成工事完成前から建築の受注者が複数入場したことから、造成地内において作業の輻輳が懸念されたが、担当技術者の積極的な工程調整により、無事故・無災害で目標工期内に工事を完成することができた。

道路（災害）部門



受賞者：東信建設工業(株)
工事名：公共災害復旧工事（道路）
工事場所：福島吾妻裏磐梯線
福島市土湯温泉町
字姥滝空沢国有林地内

特徴：観光道路のため工事期間が限られる中、工法や工程を工夫し短期間での復旧を実現させた。

教育・文化施設部門



受賞者：(株)大丸工務店
工事名：盲学校南教室棟改築(建築)工事
工事場所：福島県立盲学校
福島市森合町6番34号

特徴：内装には県産材の杉板を多く使用しており、品質管理を入念に行うことで、出来形・出来栄が大変優れていた。

電気設備部門



受賞者：株式会社須南電設
工事名：復興公営住宅整備工事
(電気・根柄山生活サポート施設)
工事場所：根柄山団地
二本松市油井字根柄山地内

特徴：意匠性、施設利用者の快適性、維持管理を十分に検討し、様々な解決策の提案により優れた出来栄となった。

平成29年度福島県優良土木委託業務として管内より3件が受賞しました！

福島県土木部では年度毎に、前年度に完了した委託業務のうち、業務成績が特に優れ、他の模範となる事業者及び技術者を対象に、優良土木・建築委託業務として表彰を実施しています。

平成29年度は県土木部として、計20件の優良委託業務が決定され、8月9日（水）に表彰式が行われました。県北建設事務所管内では、以下のとおり3件の委託業務が受賞しましたのでご紹介致します。

優良土木・建築委託業務表彰 受賞事業

測量部門

事業者：(有)佐藤測量設計事務所
業務名：測量業務委託（道整・再復）
業務箇所：国道114号
川俣町山木屋地内

特徴：避難指示解除準備区域内での作業を極力短期間とするため、綿密な作業計画により業務を遂行したことが評価された。

土木設計部門

事業者：(株)阿部測量設計事務所
業務名：設計業務委託（道改・改良）
業務箇所：上名倉飯坂伊達線
福島市大笹生地内

特徴：設計に対する早急な地元の合意形成が求められたが、地元の方の意見や見やすさを丁寧に反映させた説明会資料の作成などにより円滑な事業実施に貢献した。

土木設計部門

事業者：(株)エイト日本技術開発
業務名：トンネル付帯設備詳細設計委託
業務箇所：国道115号（道整・交付）
猪苗代町大字若宮地内

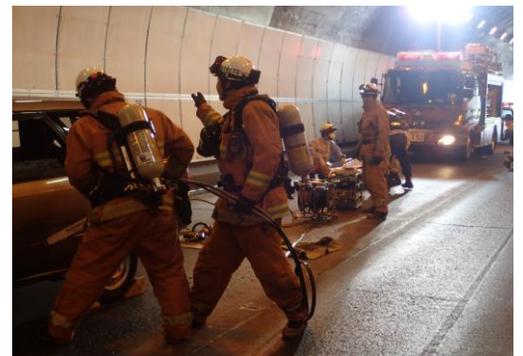
特徴：トンネルの換気設備更新のための設計業務であるが、風速などの既存データを詳細に分析することで、適切な設備の能力や配置について検討を行った。

国道115号土湯トンネル防災訓練を実施しました！

国道115号土湯トンネルの福島側坑口において、防災訓練を9月8日（金）に実施しました。警察署や消防署をはじめ、JAF、維持管理協力会社など総勢100名が訓練に参加しました。

この訓練は、トンネル内で車2台が正面衝突した影響で1台の車が出火し、負傷者が車内に残されたという想定のもと行われ、消火活動・救助活動・現場検証およびトンネル内の設備機器の操作や通行止めの訓練を実施しました。

参加者は訓練をとおして、被害発生時の救助活動や通行止めの手順などについて再確認できました。また、当日国道115号土湯峠を通行の方々には、迂回路通行の協力をいただきました。ありがとうございました！



車内に残された負傷者の救助訓練の様子

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

